

2025年4月20日

(朝10:30-11:30)

聖日礼拝

司会 城尾公彦

前奏	全員黙祷	「新聖歌23番」	ヒムプレヤー
招詞	イザヤ書53章4~5節(旧1021頁)	司会者	
頌栄	「新聖歌60番」	ヒムプレヤー	
主の祈り	(プログラムに印刷)	全員	
使徒信条	(プログラムに印刷)	全員	
交誦文	新改訳10番 詩篇31篇886頁	司会者・全員	
聖書	ヨハネ20章1~3節(新175頁)	司会者	
讃美歌	新聖歌2たたえよ救い主イエスを	ヒムプレヤー	
祈祷	司会者による祈り		
	子供達の祝福の為の賛美484番	ヒムプレヤー	
讃美歌	新聖歌115ああ主は誰がため	ヒムプレヤー	
メッセージ	「女よ、なぜ泣いているのか」	城尾マコト牧師	
讃美歌	新聖歌259聖いふみは教える 証とお知らせの時間	ヒムプレヤー	
献金	新聖歌55番		
頌栄	新聖歌63番		
祝祷		城尾マコト牧師	
後奏	全員黙祷 新聖歌59番		



Youtube



Facebook



HomePage

神様の裁きの前の恵みの時

日曜の早朝、マグダラのマリヤはイエスの墓へ向かいます。けれど墓は開かれており、イエスの遺体は見当たりません。マリヤは急いでペテロともう一人の弟子(ヨハネ)に知らせ、ふたりは墓へ駆けつけます。

中に入ると、イエスの体ではなく、亜麻布だけが残されていました。ヨハネはそれを見て信じましたが、「イエスがよみがえる」との聖書の言葉はまだ理解されていませんでした。ふたりが去った後、マリヤは墓の外で泣き続けていました。

再び墓をのぞくと、そこに白い衣をまとった二人の御使いが座っていました。「なぜ泣いているのか」と優しくたずねる声に、マリヤは「主がいなくなった」と答えます。すると背後に人の気配が。振り向いたマリヤの前に立っていたのは、なんとイエスご自身でした。しかし彼女はすぐには気づかず、園の番人と思い話しかけます。

イエスが「マリヤよ」と名を呼ぶと、マリヤは目を開かれ「ラボニ(先生)!」と呼びます。イエスは彼女に弟子たちへの伝言を託します。マリヤは喜びと確信に満ちてこう言います。

「わたしは、主にお目にかかりました!」

その日の夕方、弟子たちは恐れから部屋の戸をすべて閉ざしていました。しかしその中に、主イエスが突然現れ、「安かれ」と語られ、イエスはご自分の手とわきの傷を示し、弟子たちを遣わすと語ります。さらに、彼らに息を吹きかけてこう言われます。

「聖霊を受けよ。あなたがたが赦す罪は赦される。」

このとき、トマスはそこにいませんでした。後から弟子たちの証言を聞いた彼は、こう言い切ります。「釘あとに指を入れなければ、信じない。」

八日後、再び弟子たちが集まると、またもやイエスが戸を閉ざした中に現れます。イエスはトマスに向かって語られます。

「手を伸ばして、わたしのわきに差し入れてみなさい。信じない者にならず、信じる者になりなさい。」

トマスは涙ながらに応えます。

「わが主よ、わが神よ。」

イエスは言われます。

「見ないで信じる者は、さいわいである。」

この章の終わりで、ヨハネはこう記します。

「イエスのしるしは他にも多くあったが、これらは、イエスが神の子キリストであると信じ、その名によって命を得るために書かれた。」

城尾マコト牧師